

科目名: 医療福祉経営論		科目コード	EB68
科目主査: 小野 洋子		単位	4
担当講師: 小野 洋子、中村 誠司		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カク・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>「医療福祉経営」とは、健康や医療に関わるサービスを提供する施設である病院、診療所、健診センター、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、介護サービス事業所など医療福祉施設におけるマネジメント全般をさします。医療福祉の現場で、マネジメントに携わる人々、医療福祉経営に関して専門的に学びたい人、医療産業や医療政策に関わりたい人など、ヘルスケア全般について学んでいきます。本科目では企業経営で有効とされる理論のみならず、医療福祉の現場で想定される様々なケースについて考察し、実際の場面で応用可能なマネジメントに関する知識の修得を目指します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名: 可能な範囲で「現代の経営学」「経営戦略/経営戦略論※」「人材マネジメント戦略/人材マネジメント論※」などを先に単位取得しておくことでより理解が深まります。(※科目名称変更「旧科目名/新科目名」)	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提に授業を進めます。よく理解できないところがあったら、マーキングしておきましょう。なお、事前学習をチェックするための確認テスト(成績は評価しない)を実施します。		
テキスト	『ヘルスケア・マネジメント-医療福祉経営の基本的視座-』中島 明彦,同友館,2009年		
この科目の 到達目標	①ヘルスサービスの特性やサービスの構造、サービスの交換過程、専門職組織の特性やマネジメントの特性が理解できる。 ②医療福祉における政策や制度の関わりから、政治学や行政学的な視点で考察する力が修得できる。		
成績評価 の方法	評価対象は授業に取り組む姿勢【1日目の振り返りテスト(1問2点として10問)、グループワーク(10点)】、最終試験(100点)とします。なお、平常点(授業参加の態度)なども考慮して総合的に評価します。		
事後学習	参考文献(下記)などの参考となる図書を読んで理解を深めましょう。		
事後学習の 参考文献	『対人援助職のためのファシリテーション入門』中村 誠司,中央法規出版,2017年 『医療福祉経営入門』中島 明彦, 同友館,2017年 『医療・社会福祉法人「経営変革」の教科書』渡辺 充彦 他,日本実業出版社,2016年		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		